

Yame City

Press Conference





Contents

- 01 | 保育園留学の受入れを
始めました
- 02 | 八女市議会9月定例会
補正予算の主要事業
- 03 | 大阪・関西万博
CEA(環境制御型農業)
シンポジウム



01

保育園留学の受入れを 始めました

Nursery school exchange

移住先、
二地域居住先
に八女市を

保育園留学スタート!!

地域経済への
貢献にも期待

定員割れ保育
所の経営安定

八女市で保育園留学事業を新たにスタートしました！

保育園留学とは

都会に住む子どもが、八女市の保育園に1～2週間通いながら、親はリモートで働き家族で滞在できる、こども主役の暮らし体験。

子どもには、幼少期に大自然に触れて心身ともに健やかに育つ環境を提供し、ご家族には八女市での暮らしを満喫していただきます。

受入先保育園

本分保育園(八女市黒木町)

収穫体験、川遊び、どろんこ遊びなど自分らしくのびのびと遊べる環境が整っている保育園です。玄米や出汁から丁寧につくられる愛情たっぷりのごはんも人気のひとつです。

現在3組の保育園留学の予約を承っています。

予約方法

保育園留学専用サイトからお申込み



保育園留学

(株)キッチンハイクの運営サイトへ



元気いっぱい！どろんこ田植え



1組目の留学生 東京から家族4人で滞在
毎日自然の中でのびのびと遊びました☺

この事業はいつからいつまで？

今年、7月27日～8月2日にかけて、1組目の留学生ご家族が八女市に滞在しました。

保育園留学は内閣府による地方創生事業(新しい地方創生経済・生活環境創生交付金)を活用して行っています。令和7年度から3カ年行う予定で、状況を見ながら継続検討します。



保育園留学ご家族にレポート



ご家族とお子さんの様子を伺いました

東京からお越しの親子4人 5歳の男の子と1歳の女の子

2025年7月27日(日)～8月2日(土)滞在

自分から積極的にいくタイプではないが、本分保育園の子どもさんたちがリードしてくれてすぐに打ち解けました。

滞在中は水遊びをしたり、収穫体験をしたり、大好きなサッカーをして楽しみました。

八女市を選んだ理由は？

川が綺麗等、自然環境が豊かなところに興味を持ちました。北海道なども候補でしたが、熊本の祖母の家から近い八女市を選びました。

滞在中のお子さんの様子は？

上の子どもは環境にすぐ慣れて、楽しく過ごしています。

収穫体験や川遊びではじめて魚を捕まえる経験も。保育園でおやつに小魚やキュウリをかじったり、食べたことのない紫蘇を食べたり。今まで経験したことがないことをたくさん経験して、毎日のびのびと楽しそうに過ごしています。

下の子どもはまだ1歳。肌が弱いのですが、八女では水が合ったようで、ここ数日は症状が落ち着いています。

元気に駆け回りました☺



みんな仲良し☺



ご家族は滞在中リモートワークしながら八女市内観光も楽しんでもらいました

八女市や本分保育園の印象は？

八女市のことは今まで存じませんでした。温泉やカフェなど観光できるところがたくさんあって驚きました。

本分保育園は川遊びや収穫体験など自然に触れ合える環境でとても満足です。また八女市を訪れたいです。



02

八女市議会9月定例会 補正予算の主要事業

main business

再生可能エネルギー利活用事業 (重点対策加速化事業) (拡充)

目的

2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、環境省の重点対策加速化事業を活用しゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを行う。

概要

八女市重点対策加速化事業

事業期間 令和7年度～令和12年度

事業内容

- ・太陽光発電設備導入促進
- ・事業所EV導入促進
- ・小水力発電設備導入促進

<令和7年度事業>

- ・公共施設への太陽光発電設備導入
- ・小水力発電設備導入(設計)

32,421千円

<財源:(国)10割 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金・ふるさと支援寄附基金繰入金>

(1)重点対策加速化事業





国際水準GAPレベルアップ支援事業 (拡充)

目的

県の国際水準GAPレベルアップ支援事業を活用して、
国際水準GAP認証取得に必要な初期費用を支援する。

●GAPについて

- ・GAP(Good Agricultural Practices:農業生産工程管理)は、農業生産の各工程実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のこと。
- ・農林水産省では、「食品安全」、「環境保全」、「労働安全」、「人権保護」、「農場経営管理」の5分野を含むGAPを国際水準GAPと呼称し、ガイドラインを策定し普及を推進している。

概要

国際水準GAP認証取得に必要な初期費用を支援することで、GAPの取組が拡大し、本市農林水産物に対する実需者の信頼度向上、生産者の経営改善を図る。

496千円

<財源:(県)10割 国際水準GAP
レベルアップ支援事業費補助金>



事業主体: 八女地域GAP研究会

(彩香・八女美緑園製茶・今福製茶協同組合・角田製茶・星の喜楽園)

対象経費: 国際水準GAP認証の取得(初回のみ)および
取組実施に必要な環境整備に要する経費

補助率:1/2以内(上限50万円)



03

大阪・関西万博

CEA（環境制御型農業）

シンポジウム

Osaka Kansai Expo

大阪・関西万博で開催されるCEA（環境制御型農業）シンポジウムに参加し、パネルディスカッションで八女市長が登壇し、八女市の農業の現状と今後の展望について紹介します。

CEAとは

環境制御型農業（**C**ontrolled **E**nvironment **A**griculture：通称CEA）とは、光、CO₂、温度、湿度、気流など、生育環境を制御して行う施設園芸のことです。植物が育つ環境をコントロールすることで、作物の光合成速度を高めて成長を促進させ、収量をあげることが可能となります。

具体的な内容

令和7年9月3日（水）

主催団体：駐日オランダ王国大使館、ウエストラント市など

- 全体会議「持続可能で強靱な食料エコシステムーCEAエコシステムの貢献」
- パネルディスカッション「日本におけるアグリバレー開発のための官民連携」
- パネルディスカッション「ロボティクス・センサー・AI・温室における意思決定」
- パネルディスカッション「脱炭素化と次世代型温室」





八女市